

カヤラン

Sarcophilus japonicus (Reichb. fil.) Miq.

ラン科

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

石川県ではきわめて稀な植物である。現在、1産地のみから知られている。(現況:RO)

形態

着生植物で茎は長さ3~7cm、分枝せず、細い気根が中ほど以下から出る。葉は披針形で鈍頭、長さ2~4cm、幅4~6mm、左右2列に並ぶ。花茎は細く葉腋より出て、淡黄色の小花を2~5個着ける。花被片は開出するが、上半は内曲する。唇弁は浅く三裂、側裂片は耳状に左右に突出し、中片は発達しない。

国内分布

東北(宮城県以南・太平洋側)、北陸地方以南の本州、四国、九州、沖縄には記録があるが現状不明。

県内分布

南加賀区。

生態など

着生の多年生草本。開花期は3~5月。

生育環境

照葉樹林の樹幹に着生。

危険要因

道路工事、園芸採取、産地局限。



林 二良・1998年4月29日・南加賀

分布図はありません。